

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公表番号】特表 2005-524682(P2005-524682A)
 【公表日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-032
 【出願番号】特願 2003-583353(P2003-583353)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 6/083 (2006.01)

A 6 1 C 13/15 (2006.01)

A 6 1 C 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 6/083

A 6 1 C 13/14 B

A 6 1 C 13/00 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 1 月 13 日 (2006.1.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

エチレン系不飽和成分を含む硬化性樹脂系と、
 水と、

イオンレドックス重合系と、

I 群イオン、II 群イオン、式 NR_4^+ (式中、各 R は、H または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_4)$ アルキル基である) のアンモニウムイオンおよびそれらの混合物よりなる群から選択されるカチオンを含む、第 2 のイオン塩と、
 を含む硬化性医用組成物。

【請求項 2】

充填剤を更に含む、請求項 1 に記載の硬化性医用組成物。

【請求項 3】

前記イオンレドックス重合系がイオン酸化剤またはイオン還元剤を含む、請求項 1 または 2 に記載の硬化性医用組成物。

【請求項 4】

前記硬化性樹脂系が酸官能性成分を更に含む、請求項 1 または 2 に記載の硬化性医用組成物。

【請求項 5】

酸反応性充填剤を更に含む、請求項 1 に記載の硬化性医用組成物。

【請求項 6】

医用組成物形成用キットであって、その内容物が集合的に

エチレン系不飽和成分を含む硬化性樹脂系と、

水と、

イオンレドックス重合系と、

I 群イオン、II 群イオン、式 NR_4^+ (式中、各 R は、H または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_4)$ アルキル基である) のアンモニウムイオンおよびそれらの混合物よりなる群から選択されるカチオ

ンを含む、第 2 のイオン塩と、
を含む 1 以上の容器を含むキット。

【請求項 7】

歯科用組成物形成用キットであって、その内容物が集合的に
エチレン系不飽和成分および酸官能性成分を含む硬化性樹脂系と、
水と、
酸反応性充填剤と、
イオン酸化剤を含むイオンレドックス重合系と、
I 群イオン、II 群イオン、式 NR_4^+ (式中、各 R は、H または $(\text{C}_1 \sim \text{C}_4)$ アルキル
基である) のアンモニウムイオンおよびそれらの混合物よりなる群から選択されるカチオ
ンを含む、第 2 のイオン塩と、
を含む 1 以上の容器を含むキット。

【請求項 8】

歯科用物品を歯または骨に接着させる方法であって、
請求項 1 または 5 に記載の硬化性組成物を提供する工程と、
前記硬化性組成物を使用して、前記歯科用物品を前記歯または骨に接着させる工程と、
を含む方法。

【請求項 9】

歯科用物品を歯または骨にセメント接着させる方法であって、
歯科用物品を提供する工程と、
請求項 1、2 または 5 に記載の硬化性組成物を提供する工程と、
前記硬化性組成物を使用して、前記歯科用物品を前記歯または骨にセメント接着させる
工程と、
を含む方法。

【請求項 10】

歯の充填方法であって、
請求項 1 または 5 に記載の硬化性組成物を提供する工程と、
前記硬化性組成物を前記歯に適用する工程と、
を含む方法。